



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。	
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.advanced-media.co.jp/ir/) に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

第16期 中間報告書

2012.04.01～2012.09.30



会社概要 (2012年9月30日現在)

会社名	株式会社アドバンスト・メディア
設立	1997年12月
資本金	45億8,509万円
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、他
所在地	本社 〒170-8630
	東京都豊島区東池袋3-1-4
	サンシャインシティ文化会館6階
	Tel:03-5958-1031 (代表) Fax:03-5958-1032
連結子会社	AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ王国)
業務提携先	Multimodal Technologies, LLC. (米国)

Vision

Human Communication Integrationの実現

アドバンスト・メディアは、
「機械」との自然なコミュニケーションを実現し、
豊かな未来を創造します。

株式会社アドバンスト・メディア

証券コード：3773



連結業績概要

人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく第2次中期経営計画を推進しております。当連結会計年度は、ソリューションとプロダクトの商品力強化による拡販と新機軸サービス事業に取り組んでまいります。

売上高

- クラウド事業部においてスマートフォンやタブレット端末の普及を想定した商品開発および営業活動が奏功し、ライセンス収入が当初計画を大幅に上回りました。
- CTI事業部および医療・公共事業部においても、ほぼ計画どおり案件獲得が進み当初計画を上回りました。
- 連結子会社AMIVOICE THAI CO., LTD.において、予定していた受注を第3四半期連結会計期間以降に持ちこしたため、当初計画を下回りました。

これらの結果、全体での売上高は555百万円（前年同四半期は583百万円）となりました。

損益

- クラウド事業部のライセンス収入が増加したことにより当初計画以上の粗利益率となりました。
- 保有していたMModal, Inc.（米国）株式全てを売却したため、特別利益として投資有価証券売却益約663百万円を計上いたしました。
- MModal, Inc.（米国）の株式売却代金の受領等により為替差損69百万円および第1四半期連結会計期間に発生した持分法による投資損失97百万円を営業外費用に計上いたしました。

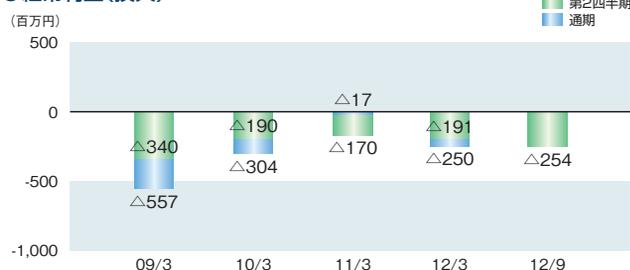
これらの結果、営業損失は154百万円（前年同四半期は営業損失195百万円）、経常損失は254百万円（前年同四半期は経常損失191百万円）、四半期純利益は369百万円（前年同四半期は四半期純利益1,817百万円）となりました。

財務ハイライト

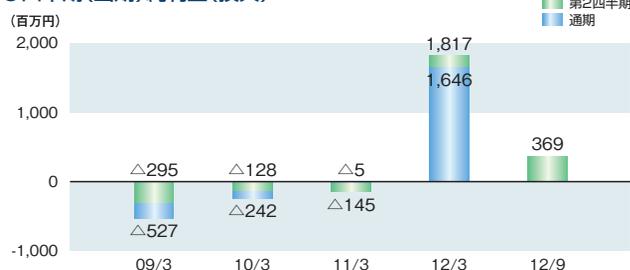
●売上高



●経常利益(損失)



●四半期(当期)純利益(損失)



●総資産・純資産



株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第16期中間報告書をお届けし、当社事業概況のご理解の一助となれば幸いです。

当社グループは、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく第2次中期経営計画を推進しております。当連結会計年度は、ソリューションとプロダクトの商品力強化による拡販と新機軸サービス事業に取り組んでまいります。

そのような中、第2次中期経営計画をより迅速に推進させるために、期初において営業と開発が一体となった事業部制（CTI事業部、クラウド事業部、医療・公共事業部）に組織を変更いたしました。その新体制のもと、新機軸サービス事業として「溢れる声をデータにするサービス事業：VDS（ボイスデータサービス）」および「声が価値を生み出すサービス事業：VAS（ボイスアクティベーションサービス）」に取り組んでおりますが、その取り組みがよいよ実現しはじめたと考えております。その具体的な実績としては、平成24年11月1日よりKDDI株式会社様が、スマートフォンに話しかけることで、天気やニュースなどの情報を表示させたり、メール作成などの操作を可能とするアプリ「おはなしアシスタント」の提供が開始され、そのアプリに当社の音声認識技術AmiVoice®が採用されたことであります。これはまさに「声が価値を生み出すサービス事業：VAS（ボイスアクティベーションサービス）」の象徴であり、このような事例を今後も数多く実現してまいりたいと考えております。

また、今後は、実績のある医療・議事録・コールセンター分野において、ASP化による月額課金モデルを実現するとともに、スマートフォンやタブレット端末の普及に合わせ、ライセンス収入や従量課金モデルなどを確立することで、ストックビジネスの絶対量を増大させ当社の収益力の向上を図ってまいります。

当連結会計年度においても、更なる企業価値向上に繋がるよう全社一丸となり事業を推進していく所存でございます。

今後とも、株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2012年12月
代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

音声インターフェイスをクラウドサービスで！



スマートフォン、タブレット端末などに、初期費用を抑えかつ容易に音声認識機能を組み込み、ご利用いただくための企業向けクラウドサービス「AmiVoice® Cloud」の本格販売を開始。

新機軸サービス事業への取り組みを促進

ボイスデータサービス (VDS)の導入

溢れる声をデータにするサービス事業

- Android端末にて音声認識を行うことができる「AmiVoice® Keyboard for Android」を発売
- スマートフォン・タブレット端末の普及から
 - ・営業社員等の営業日報入力
 - ・フィールドサポート員の作業報告入力
 - ・CRM、SFA、グループウェアへの音声入力などの実績が出ている

ボイスアクティベーションサービス (VAS)の導入

声が価値を生み出すサービス事業

- KDDI株式会社様のスマートフォンに話しかけることで、天気やニュースなどの情報を表示したり、メール作成などの操作を可能とするスマートフォン向けアプリ「おはなしアシスタント」に当社音声認識技術が採用
- 株式会社バンダイ様のiPhoneが顔になる次世代ペットロボット「スマートペット」に当社音声認識技術が採用

株式会社サイバークラーク研究所について

当社持分法適用会社である株式会社サイバークラーク研究所は、当社と株式会社ニチイ学館の資本・業務提携の一環として、音声認識やインターネット通信などのIT技術と、各分野の専門知識を持った人材の力を組み合わせ、さまざまな現場で求められるドキュメント（書類）を、お客様の発話音声から作成するという独自のビジネススキームとして企画・開発しておりました。一方、本ビジネス開発には、さらに時間を要すると想定され、同社については経済合理性の観点から事業運営を停止しており、今後の事業開発は当社において継続する予定でございます。

特別利益の発生

当社が保有しているMModal, Inc.（米国、NASDAQ 上場）株式に、公開買付けが実施されました。当社は、特別利益として投資有価証券売却益の計上が見込まれること、および、当社が応募しなかった場合、MModal, Inc.を非上場化することを目的としており、今後の売却機会が限られることが想定されたため、公開買付けに応募いたしました。なお、MModal, Inc.との技術提携は、引き続き強固な関係を構築しております。

平成24年8月17日付で、本公開買付けが成立したとの結果の公表があり、当社は、特別利益として投資有価証券売却益約663百万円を計上いたしました。

facebookページの開始

アドバンスト・メディアフェイスブックページを開設いたしました。ここではHPと連携しアドバンスト・メディアに関する最新情報を積極的に発信していきます。

URL：http://www.facebook.com/amivoice

また、アドバンスト・メディアの公式キャラクター、「JJ（ジェイジェイ）」です。フェイスブックページでの案内役はもちろんのこと、当社グループが目指している、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を実現するために必要なバーチャルキャラクターとして今後活躍してもらう予定です。

